

2024 年度埼玉県内企業の設備投資動向調査

調査対象：県内企業 535 社 調査方法（期間）：アンケート方式（7 月 25 日～8 月 31 日）
 回答企業：173 社(回答率 32.3%) 業種別内訳：製造業 87 社 非製造業 86 社

要 旨

- 埼玉県内企業に対して 2024 年度の設備投資計画についてアンケート調査を実施したところ、「実施または実施予定」と回答した企業の投資計画額は約 106 億円となり、全産業で前年度実績に比べ 25.3%増加する見込みとなった。業種別にみると、製造業は同 4.3%減少するものの、非製造業は同 71.2%増加する計画となっており、非製造業が全体を牽引している。
- 2024 年度の設備投資計画を 2023 年度より「増加」と回答した企業の割合は、全産業では 50%となり、「減少」と回答した企業の 38%を 12 ポイント上回った。業種別にみると、製造業の 45%に対し、非製造業は 61%となっている。
- 設備投資を「実施または実施予定」とした企業の割合は、全産業で 64%となり、前年度調査(73%)から 9 ポイント減少した。
- 設備投資の中身は、維持更新投資が中心であるが、受注・売上増加に伴う設備購入、合理化・省人化に向けた設備、システムの導入などもみられた。
- 設備投資の決定要因は「自社の業績」が最も多い。今後の設備投資計画の実施可否を左右するものとして、企業収益の動向が注目される。また、県内企業の設備は過不足均衡状況にあり、今後の国内外需要の動向が能力増強投資の実施可否の鍵となる。

1. 2024 年度計画額と 2023 年度（前年度）実績額との比較

～全産業で前年度比 25.3%増加、非製造業が牽引～

2024 年度の設備投資を「実施または実施予定」とした企業に対して、投資計画額について聞いたところ、全産業で 10,588 百万円となり、2023 年度実績額（8,453 百万円）に比べ 25.3%の増加となった。業種別にみると、製造業は 4,918 百万円で同 4.3%減少となったものの、非製造業は 5,670 百万円と同 71.2%増加となった。今年度は非製造業が全体を牽引する形となった。

規模別では、規模の大きい企業（従業員 100 人以上の企業）は 8,201 百万円で同 21.0%増、規模の小さい企業（従業員 100 人未満の企業）は 2,387 百万円で同 42.3%増となった。

（図表 1）

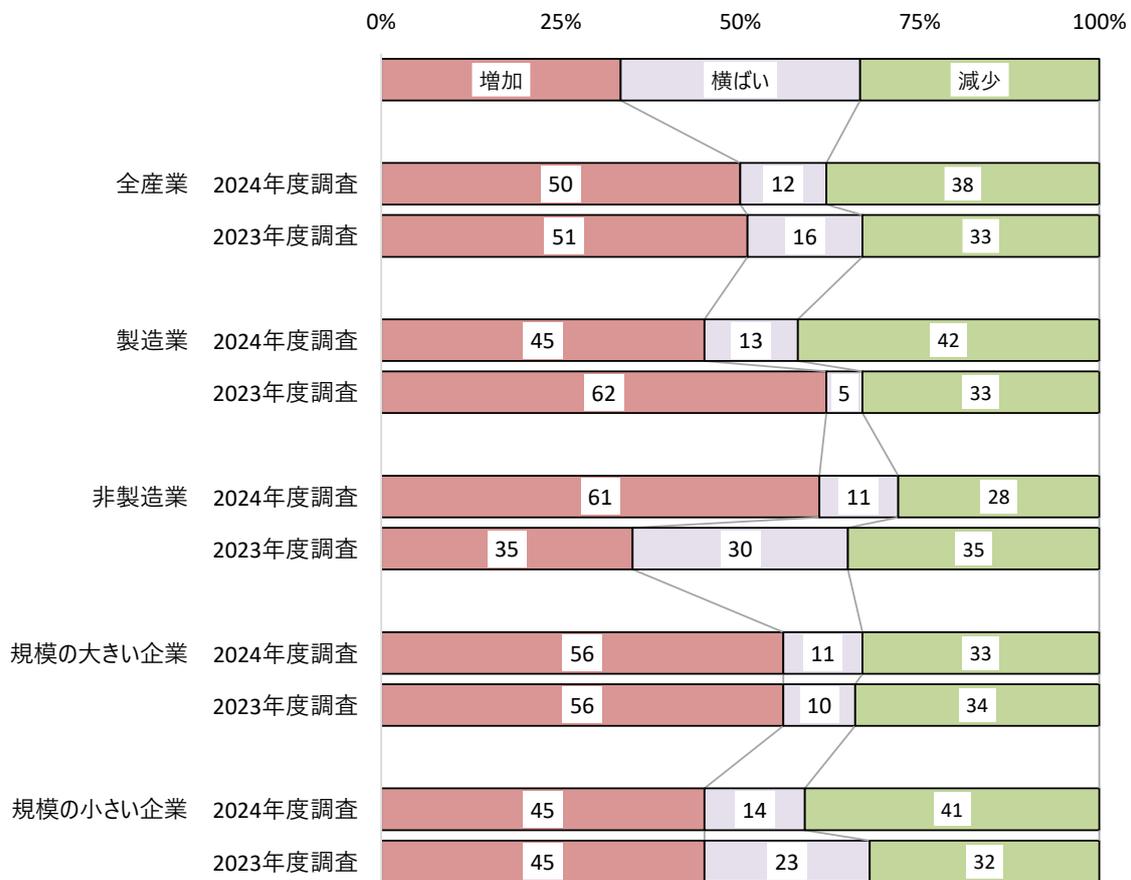
図表 1 2024年度設備投資計画額 （単位：百万円、%）

	実施または実施予定 とした企業数	2024年度 計画額	2023年度 実績額	対前年度 増減率
全 産 業	100社	10,588	8,453	25.3
製造業	54社	4,918	5,140	▲ 4.3
非製造業	46社	5,670	3,313	71.2
規模の大きい企業	59社	8,201	6,775	21.0
規模の小さい企業	41社	2,387	1,678	42.3

2024 年度設備投資計画額について、2023 年度実績額より「増加」と回答した企業の割合は、全産業では 50%となり、「減少」と回答した企業の 38%を 12 ㊦上回った。業種別にみると、製造業では、「増加」の 45%に対し、「減少」は 42%。非製造業では、「増加」の 61%に対し、「減少」は 28%となった。規模別にみると、規模の大きい企業は、「増加」の 56%に対し、「減少」は 33%。規模の小さい企業では、「増加」の 45%に対し、「減少」は 41%となった。

2023 年度調査と比較すると、「増加」と回答した割合が、製造業では 17 ㊦減少したのに対し、非製造業では 26 ㊦増加した。(図表 2)

図表 2 前年度実績額との比較



2. 2024 年度設備投資の実施割合

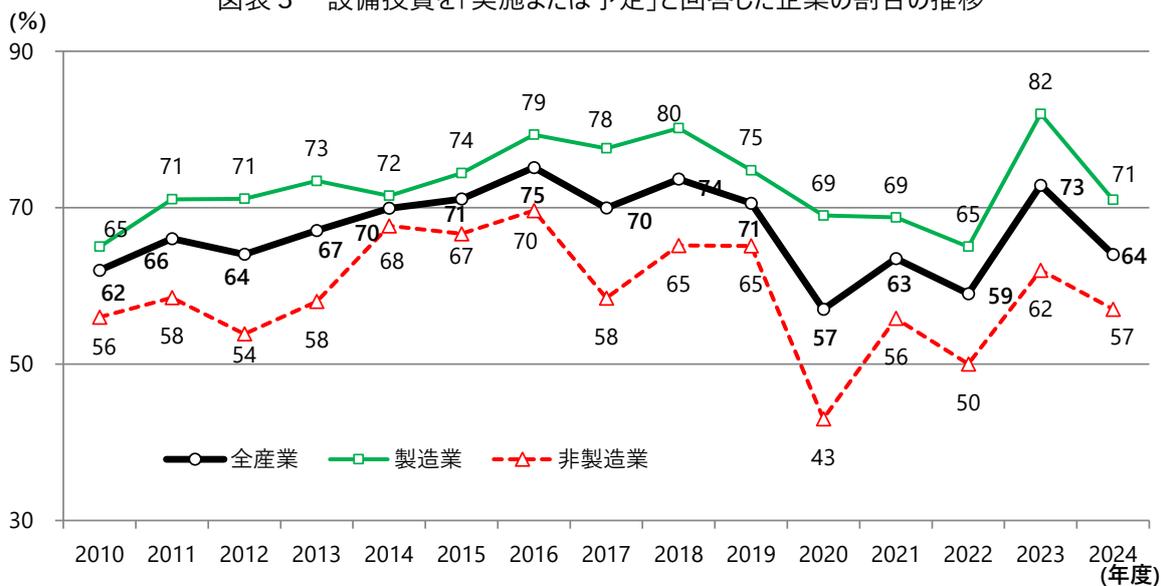
～「実施または実施予定」とした割合は 64% で前年度より 9 ㊦減少～

2024 年度に設備投資を「実施または実施予定」とした割合は、全産業で 64% となり、前年度調査 (73%) から 9 ㊦減少した。業種別にみても、製造業が前年度比 11 ㊦減の 71%、非製造業が同 5 ㊦減の 57% となった。(図表 3)

それぞれの内訳をみると、製造業では、鉄鋼・非鉄などの素材型が同 6 ㊦減の 62%、一般機械や電気機械などの加工組立型が同 15 ㊦減の 77%、飲・食料品などの生活関連型が同 15 ㊦減の 71% となった。非製造業では、小売が同 18 ㊦減の 57%、不動産が同 7 ㊦減の 60%、建設が同 4 ㊦減の 40% となったものの、運輸・倉庫が同 31 ㊦増の 88%、卸売が同 12 ㊦増の 55% となった。

規模別では、規模の大きい企業が同 9 ㊦減の 77%、規模の小さい企業は同 8 ㊦減の 52% とともに減少した。

図表 3 設備投資を「実施または予定」と回答した企業の割合の推移

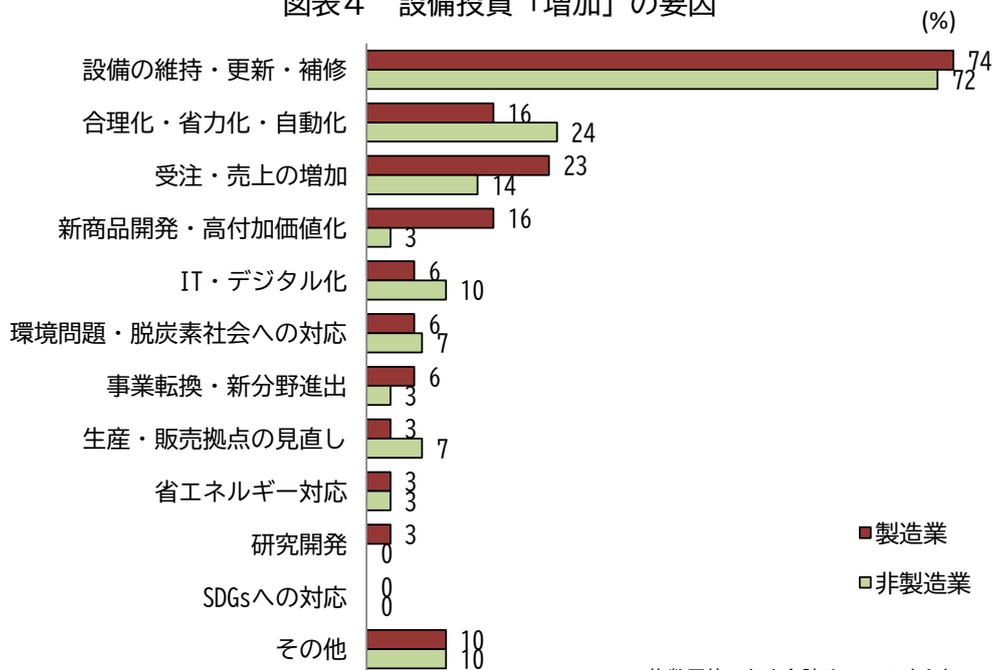


3. 設備投資「増加」の要因（複数回答）

～製造業、非製造業ともに「設備の維持・更新・補修」がトップ～

今年度設備投資予定額が、前年度実績額に比べ「増加」と回答した企業に、その要因を複数回答(3項目以内)で聞いたところ、「設備の維持・更新・補修」が製造業では74%、非製造業では72%と最も高く、他の要因を大きく引き離れた。次いで、製造業では「受注・売上の増加」が23%、「合理化・省力化・自動化」、「新商品開発・高付加価値化」が16%と続いた。「環境問題・脱炭素社会への対応」は前年度23%であったが、今年度は6%と17%減少した。非製造業では「合理化・省力化・自動化」が24%、「受注・売上の増加」が14%と続いた。(図表4)

図表4 設備投資「増加」の要因



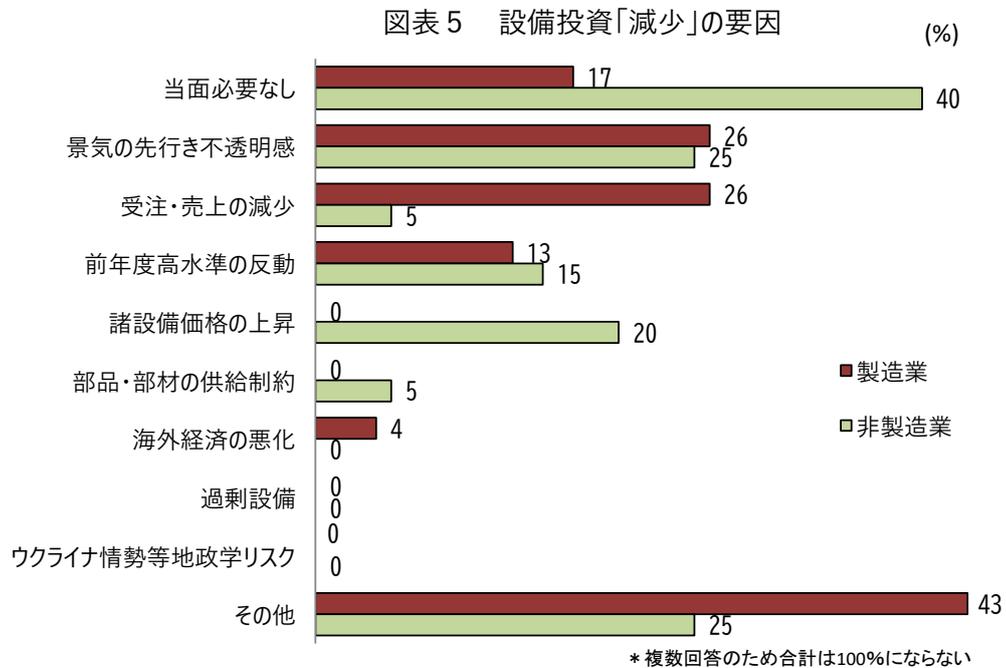
* 複数回答のため合計は100%にならない

4. 設備投資「減少」の要因（複数回答）

～製造業は「景気の先行き不透明感」「受注・売上の減少」、
非製造業は「当面必要なし」が最多～

今年度計画額が、前年度実績額に比べ「減少」と回答した企業に対し、その要因を複数回答(3項目以内)で聞いたところ、製造業では、「景気の先行き不透明感」、「受注・売上の減少」がそれぞれ26%と最も高く、次いで「当面必要なし」(17%)と続いた。非製造業では、「当面必要なし」が40%と最も高く、次いで「景気の先行き不透明感」(25%)、「諸設備価格の上昇」(20%)と続いている。

また、「その他」の回答として「投資計画の変更・見直し、遅延」、「税負担の増加」、「業績回復の遅れ」などが上がっている。(図表5)



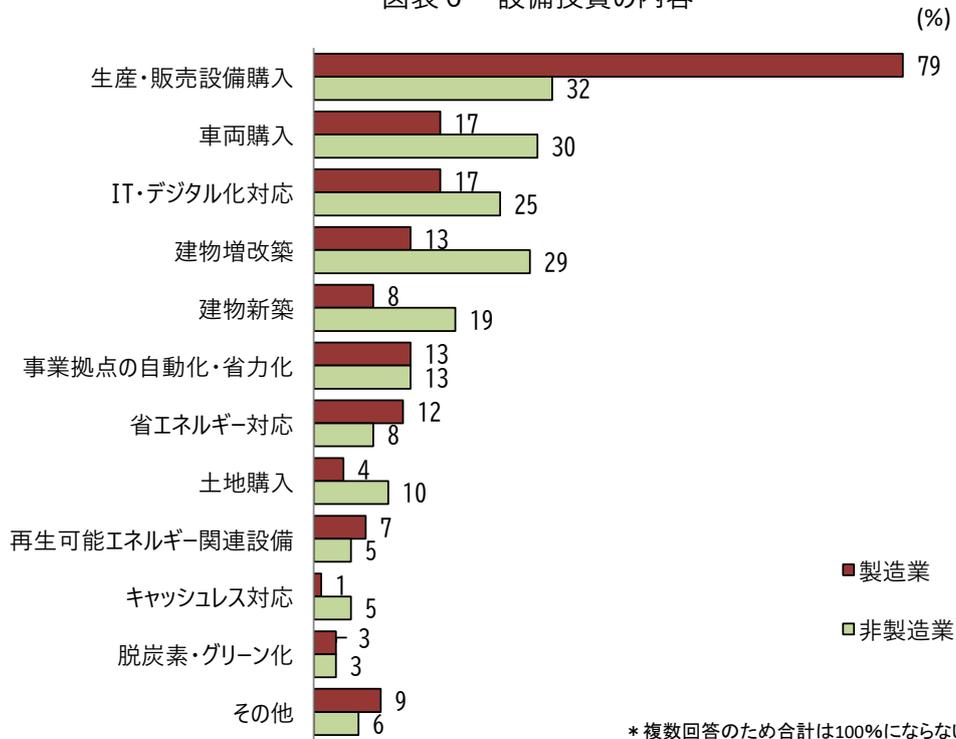
5. 設備投資の内容（複数回答）

～「生産・販売設備購入」が製造業では79%、非製造業では32%で最多～

設備投資の内容を複数回答(3項目以内)で聞いたところ、製造業では前年度調査に引き続き「生産・販売設備購入」とする企業が圧倒的に多く79%を占めた。これに、「車両購入」、「IT・デジタル化対応」がそれぞれ17%と続いた。

非製造業では、「生産・販売設備購入」が32%と最も多く、次いで「車両購入」が30%、「建物増改築」が29%と僅差で続いている。（図表6）

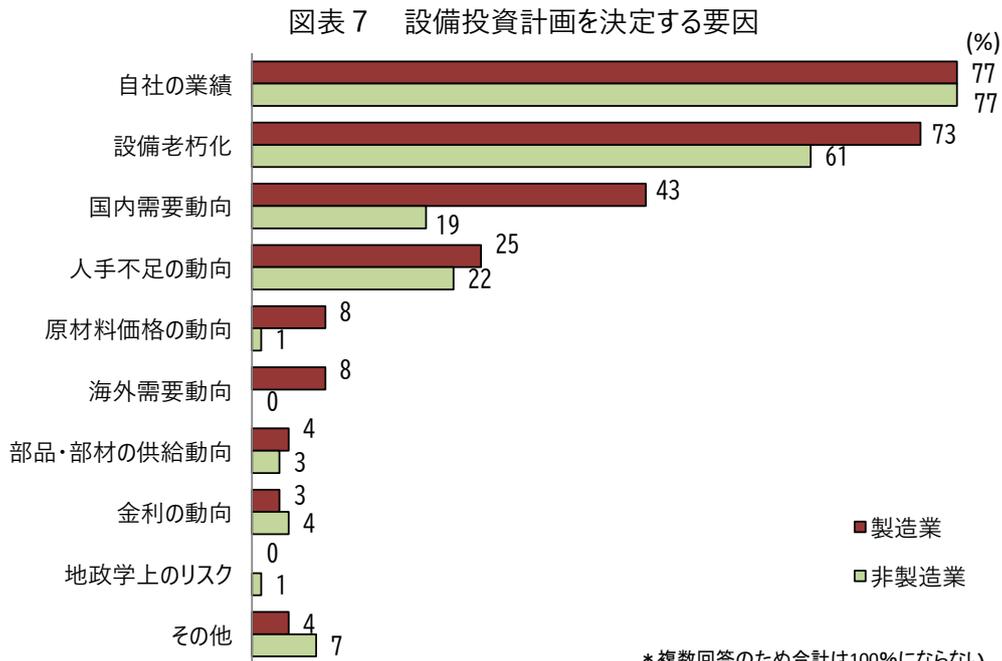
図表6 設備投資の内容



6. 設備投資計画を決定する要因（複数回答）

～製造業、非製造業ともに「自社の業績」が最多～

設備投資計画を決定する上での大きな要因について複数回答（3項目以内）で聞いたところ、製造業、非製造業ともに「自社の業績」が77%と最多となった。次いで、「設備老朽化」が、製造業では73%、非製造業では61%と続いた。その他、「国内需要動向」、「人手不足の動向」が上位となった。（図表7）



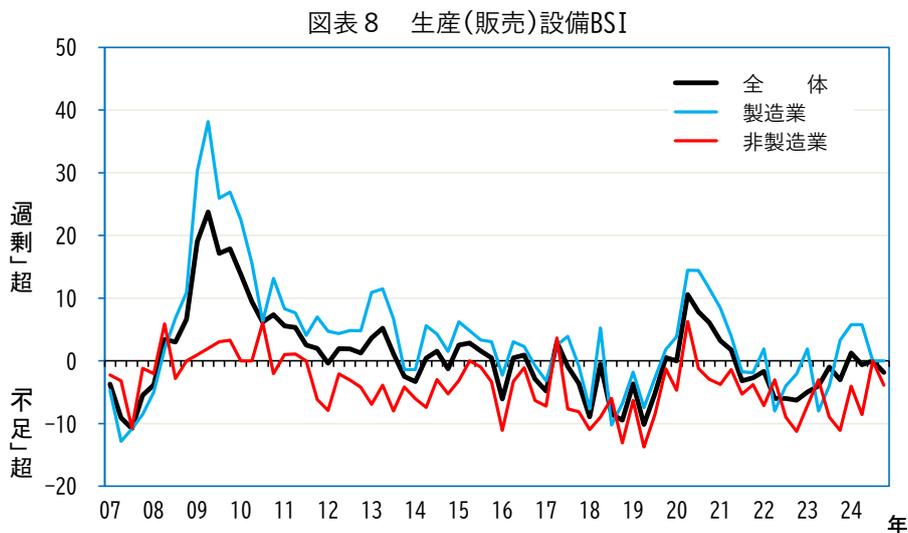
7. まとめ

埼玉県内企業の 2024 年度の設備投資計画額は前年度比約 25%の増加となっており、非製造業が牽引する形となっている。県内企業の設備投資は 2021 年度以降 4 年連続で増加する見通しとなっており、その持続力が改めて確認できた。

設備投資計画を決定する要因は、製造業、非製造業ともに「自社の業績」が 8 割弱を占めている。

設備投資動向調査と同時期に実施した 2024 年度企業業績見通し調査をみると、経常利益は、上期は「減益」と回答した企業が「増益」と回答した企業を上回っているが、下期にかけて回復していく見込みとなっている。経常利益が企業の見込み通りに回復していけば 2024 年度設備投資も計画通りに実施され、景気の牽引役となる可能性も高まることから、今後の動向が注目される。

この間、2024 年 7~9 月に実施した埼玉県内企業経営動向調査における「生産（販売）設備 BSI」（図表 8）をみると、7~9 月期における全産業、製造業、非製造業とも「過不足」が均衡する状況となった。設備投資のうち能力増強投資については先行きの需要見通しに大きく依存するため、企業収益（企業の価格転嫁等）の状況のみならず、今後の国内外需要の動向から目が離せない。



人手不足が続くなか、来年度以降も賃上げ（含む賞与の増額）圧力は高まるとみられるが、老朽化した設備の更新、補修、省力化・自動化投資も避けては通れない。また、「金利のない世界」から「金利のある世界」に転換した現在、今後の企業経営は一段と厳しさを増すものと思われる。今後の状況により、来年度以降、賃上げ・設備投資をどちらも積極的にできる企業、どちらかしかできない企業、どちらもできない企業に色分けされていくように思われる。

以上